

地域経済循環創生ワーキンググループ 第3回 議事録

- 日時:2024年11月6日(水) 15:00~17:00
- 場所:オンライン会議
- 進行:株式会社バイウィル 代表取締役 CSO 兼 バイウィル カーボンニュートラル総研 所長 伊佐 陽介

●議題

- ①トピック共有
- ②バイオマス事業モデルの検討
- ③事業モデルの方向性

●内容

- ①トピック共有
 - ・GX 実行会議(第13回)の報告
 - 自治体による地域の脱炭素化推進の重要性が強調
 - 地方創生予算の倍増方針
 - 年内に GX2040 ビジョン策定予定
 - ・COP29 における主要論点
 - 政府認可に関する議論(クレジット創出の認可・取り消し条件等)
 - クレジット登録簿の管理方式(中央管理 vs 各国管理)
 - 吸収除去系クレジットの扱い
 - ・官民連携データスペース構想の動向
 - CO2 排出量情報の国際的データベース連携
 - 信頼性向上と二重カウント防止が目的
- ②バイオマス事業モデルの検討
 - 林業との垂直統合モデルの成功事例
- ③事業モデルの方向性
 - ・拠点型・分散型の2モデルでの展開検討
 - 拠点型:2メガ級の大規模発電
 - 分散型:数十~500キロワット規模の小規模分散型
 - ・成功要件
 - 収益性確保(燃料調達の低価格・安定化が重要)
 - 地域事業適格性と拡張性
 - キープレイヤーと適地の選定
 - 最適な設備とO&M体制の構築